2017 年 7 月 12 日

報道関係各位

株式会社　奥村組

大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援

奥村組は「大阪国際女子マラソン」に協賛します

株式会社奥村組（本社：大阪市阿倍野区、社長：奥村太加典）は 2018 年から 2021 年までの 4 年間、「大阪国際女子マラソン※1」に協賛します。

【協賛の背景】

当社は 1907 年（明治 40 年）の創業以来、「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、土木・建築を両輪とする調和のとれた総合建設会社として社会の発展に寄与すべく、着実に歩んでまいりました。

今回の協賛決定は、レースにかける選手たちの姿と当社社員一人ひとりの仕事に取り組む姿勢とが重なり、共感できたことがその大きな理由です。スタートラインに立つまでの計り知れない努力と準備。支えてくれるチームや家族の想いを力にひたむきに走り続ける姿。そして、ゴールの向こうに待っている感動と達成感。それらはまさに、当社が大切に継承してきた企業文化と相通じるものです。

また、地元大阪の発展や女性の活躍を推進する当社の取り組みからも、大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援したいという思いを強くした次第です。

来年 2018 年は、創業から 111（ひとひとひと）年※2 を迎える年でもあります。この節目の年に行う大会への協賛を、社員全員が創業者 奥村太平の掲げた「堅実経営」「誠実施工」の原点をあらためて見つめ直す絶好の機会と捉え、これからも社会に貢献し続けられる企業を目指してまいります。

※1　2018 年より 2020 年東京オリンピックマラソン代表選考競技会「マラソングランドチャンピオン（MGC）シリーズ」の一つとして、注目を集めています。

※2　当社のシンボルマークは「人」をモチーフにしています。

【協賛の概要】

当社は、2018 年 1 月 28 日（日）開催の「第 37 回大阪国際女子マラソン」から 2021 年開催の「第 40 回大阪国際女子マラソン」までの 4 年間協賛します。

エリートランナーマラソンだけではなく、同時開催の「大阪ハーフマラソン」「大阪エンジョイ RUN（仮）」への協賛も行い、選手の応援や子どもからお年寄りまで幅広い層の方々にマラソンを楽しんでいただける 1 日とします。また当社社員は、大会運営をサポートするため多数のボランティア参加を予定しており、大会の安全や盛り上げに貢献していきます。

【大阪国際女子マラソンの概要】　※協賛以外は前回実績

（大会名称）　大阪国際女子マラソン大会

（主催）　日本陸上競技連盟、関西テレビ放送、産経新聞社、サンケイスポーツ

（共催）　大阪市

（後援）　大阪府、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪スポーツみどり財団、大阪商工会議所、関西・大阪 21 世紀協会、ラジオ大阪、夕刊フジ、フジサンケイビジネスアイ、サンケイリビング新聞社、扶桑社、FM802

（主管）　大阪陸上競技協会

（協賛）　奥村組

（コース）　日本陸上競技連盟、IAAF／AIMS 公認コース
ヤンマースタジアム長居～昭和町～今川 2～大池橋～勝山 4～森ノ宮～OBP～北浜～大阪市役所～御堂筋・道頓堀橋南詰折り返し～淀屋橋～片町～大阪城公園～森ノ宮～勝山 4～大池橋～今川 2～昭和町～ヤンマースタジアム長居(42.195km)

【奥村組の会社概要】

（社名）　株式会社奥村組

（本社）　大阪市阿倍野区松崎町二丁目 2 番 2 号

（創業）　1907 年（明治 40 年）2 月 22 日

（資本金）　198 億円

（社長）　代表取締役社長　奥村太加典

（従業員数）　2,135 人　※2017 年 4 月 1 日現在

（事業内容）　総合建設業およびこれに関連する業務

（売上/利益）　売上高 203,090 百万円、純利益 13,614 百万円　※2017 年 3 月期決算（連結）

（シンボルマークの由来）

奥村組のシンボルマークは「人」を象徴したものです。
これは〝人と自然を大切にし、未来づくりに貢献するヒューマン・コンストラクター〟をめざすという私たちのこころを表現しています。

＜本件に関するお問い合わせ先（報道関係者）＞
株式会社奥村組　社長室　広報課　藤本
〒545-8555　大阪市阿倍野区松崎町 2-2-2
電話：06-6625-3525　FAX：06-6621-1160